

関係各位

兵庫県病虫害防除所長

令和8年度病虫害発生予察防除情報 第4号を発表します。

春から発生が多かった果樹カメムシ類について、8月以降も発生が多い状況が続いています。園地での発生状況に十分注意し、防除対策を徹底するようご指導願います。

令和8年度病虫害発生予察防除情報 第4号
果樹カメムシ類の発生状況と防除対策について

- 1 対象作物** 果樹類（なし、もも、ぶどう、かんきつ、かき等）、
果菜類（ピーマン等）
- 2 病虫害名** 果樹カメムシ類
（チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ）
- 3 発生地域** 県内全域
- 4 発生状況について**
 - （1）本県では果樹カメムシ類（写真1）の発生量に隔年性があり、本年は発生の多い「表年」に該当する。本年は春から発生量が多く、発生予察注意報 第1号（5月20日発表）により、注意喚起を行ってきた。
 - （2）その後もフェロモントラップにおいて、表年の平均を上回る誘殺が認められている。チャバネアオカメムシの7月6半旬～8月5半旬の合計誘殺数は、加西市で3,568頭（表年の過去5年平均1,297頭）と、多発年であった令和6年（同期間合計5,629頭）に次いで多い（図1）。
 - （3）予察灯（加西市、朝来市、南あわじ市）における果樹カメムシ類の直近1ヵ月の合計誘殺数は、地点、虫種によっては平年と比べて「多」または「やや多」となっている（表）。特に加西市、朝来市では8月に入ってツヤアオカメムシの誘殺数が急増している（図2）。
 - （4）8月下旬時点で、県中央部の一部のぶどう園において、果樹カメムシ類が果実袋の上から吸汁する様子が認められており、それに伴う果実被害が発生している（写真2右、写真3）。

5 今後の発生予想について

- (1) チャバネアオカメムシの卵巣の発達状況から、8月以降、主に第1世代成虫が盛んに園地に飛来していると推察され、8月下旬までは本世代が果樹園へ多飛来する恐れがある。9月以降、第2世代も入り交じって園地に飛来し、発生が長期化する可能性がある。
- (2) 気象庁の向こう1か月の近畿地方の気象予報（8月27日）では、気温が平年より高く推移するとされており、カメムシ類の活動に好適な条件が続くと予想される。

6 防除上の留意点

- (1) 果樹園への飛来量や飛来時期は、周辺環境の影響を大きく受けるため、地域や園地によって異なる。各園地で見回りを実施し、発生を認めたら速やかに薬剤による防除を行う。山林に近い園地では飛来量が多い傾向にあるため、特に注意する。
- (2) なし、もも、ぶどう等の有袋栽培では、袋をかけていても外部から吸汁される場合がある。多発時には思いがけず被害果が増えるおそれがあるため、袋がけ後の発生状況にも注意する。
- (3) 果樹カメムシ類の発生量が多い年には、通常であれば被害が発生することが少ないピーマン等の果菜類においても被害が発生することもある。ピーマン、トマト等の果菜類の栽培圃場での発生状況に注意する。
- (4) 果樹カメムシ類は夜間を中心に活動するため、薬剤散布は夕方に行うと効果が高い。また、移動性が高いため、薬剤散布は広域的に一斉に実施し、地域全体の密度を下げることを望ましい。
- (5) 薬剤散布を行う場合は、農作物病害虫・雑草防除指導指針等を参考に薬剤を選定し、農薬使用基準を守る。特に現在、収穫期を迎えている園地では、収穫前日数に注意すること。なお、合成ピレスロイド剤は効果が高く残効も期待できるが、天敵昆虫に対する影響が強く、ハダニ類など他害虫を誘発するおそれがあるため、使用にあたっては他の害虫の発生状況も十分に考慮する。



写真1 果樹カメムシ類成虫
(左：チャバネアオカメムシ、中：ツヤアオカメムシ、右：クサギカメムシ)



写真2 果樹カメムシ類による果実被害（左：なし、右：ぶどう） ※令和6年撮影



写真3 果実袋の上からぶどうを吸汁するチャバネアオカメムシ
※令和6年撮影

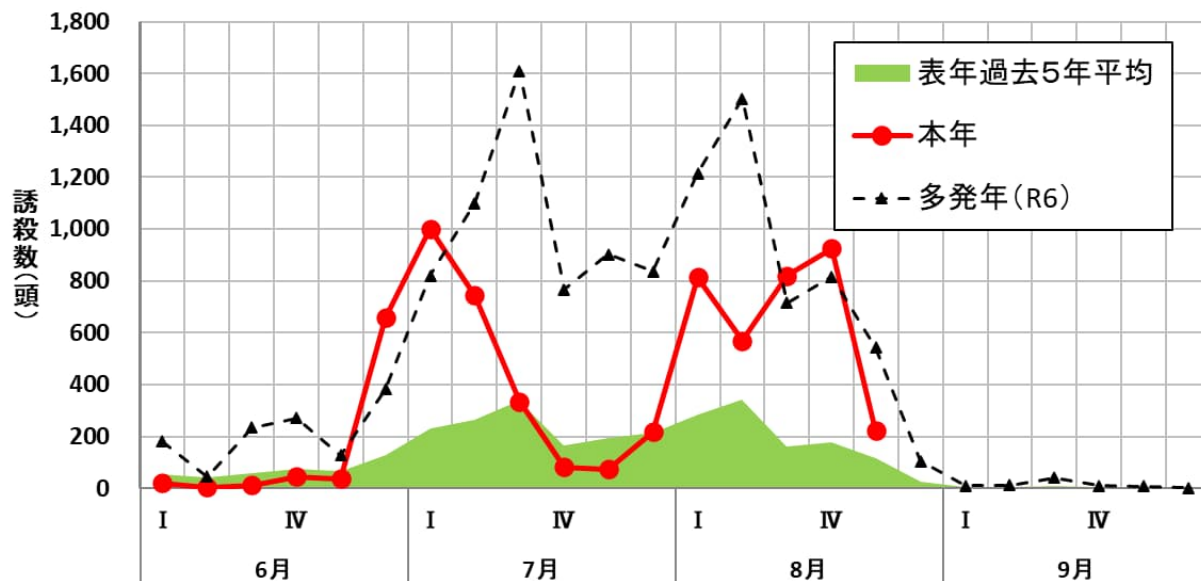


図1 フェロモントラップにおけるチャバネアオカメムシ誘殺数の推移（加西市）

表 予察灯における果樹カメムシ類の合計誘殺数

調査地点	チャバネアオカメムシ			ツヤアオカメムシ			クサギカメムシ		
	本年 (頭)	表年過去 5年平均 (頭)	過去10年と 比較した 当年の順位 (位)	本年 (頭)	表年過去 5年平均 (頭)	過去10年と 比較した 当年の順位 (位)	本年 (頭)	表年過去 5年平均 (頭)	過去10年と 比較した 当年の順位 (位)
加西市	75.8	64.0	2	34.8	10.5	2	9.4	11.7	3
朝来市	423.5	476.6	4	308.5	73.0	1	200.7	473.7	4
南あわじ市	30.0	25.5	2	7.0	3.6	5	0	1.0	5

※直近1か月（7月6半旬～8月5半旬）の合計誘殺数

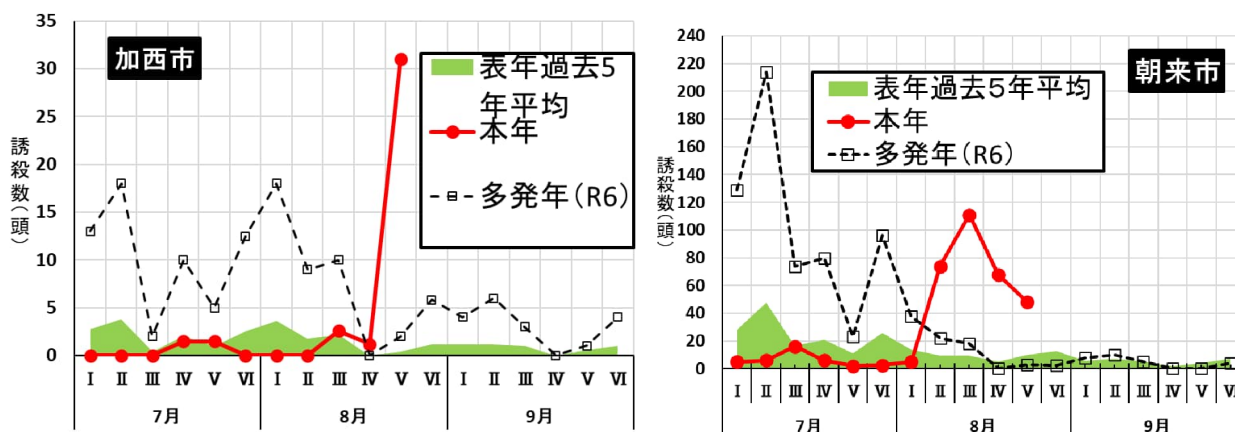


図2 予察灯におけるツヤアオカメムシ誘殺数の推移

＊この情報は、兵庫県病虫害防除所ホームページに掲載しています。

<https://bojo.hyogo-nourinsuisangc.jp>

＊農作物病虫害・雑草防除指導指針は以下のURLに掲載

<https://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/top/hyogo>

＊兵庫県総合防除計画は以下のURLに掲載

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/nk09/sougouboujyo.html>

問い合わせ先 兵庫県病虫害防除所 0 7 9 0 － 4 7 － 1 2 2 2

令和4年3月1日より「兵庫県病虫害防除所」X(旧Twitter)を開設しています。

発生予察情報など病虫害に関する情報を速やかに提供しますので、是非フォローお願いします。

Xアカウント (https://twitter.com/hyogo_boujoshu)

